

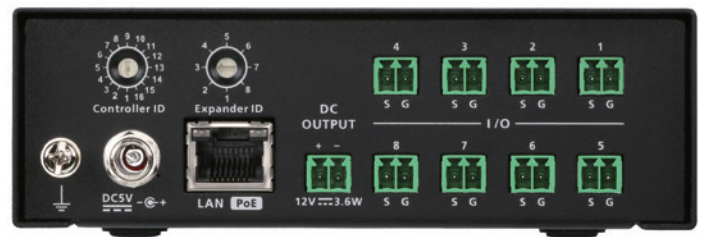
VK258

8チャンネルデジタル I/O 拡張ボックス

VK258には、ATENコントロールシステムを柔軟に拡張できるよう、デジタル入出力が8箇所用意されています。これにより、各種センサー、ドライ接点デバイス、PC、モーター駆動デバイスなどのデジタルI/Oデバイスを集中制御する必要がある環境で、より多くの機器を制御することが可能になります。この拡張ボックスはイーサネットベースで接続できる強みを活かし、異なる場所からでもネットワーク接続を介してATENコントローラーへと容易に接続します。

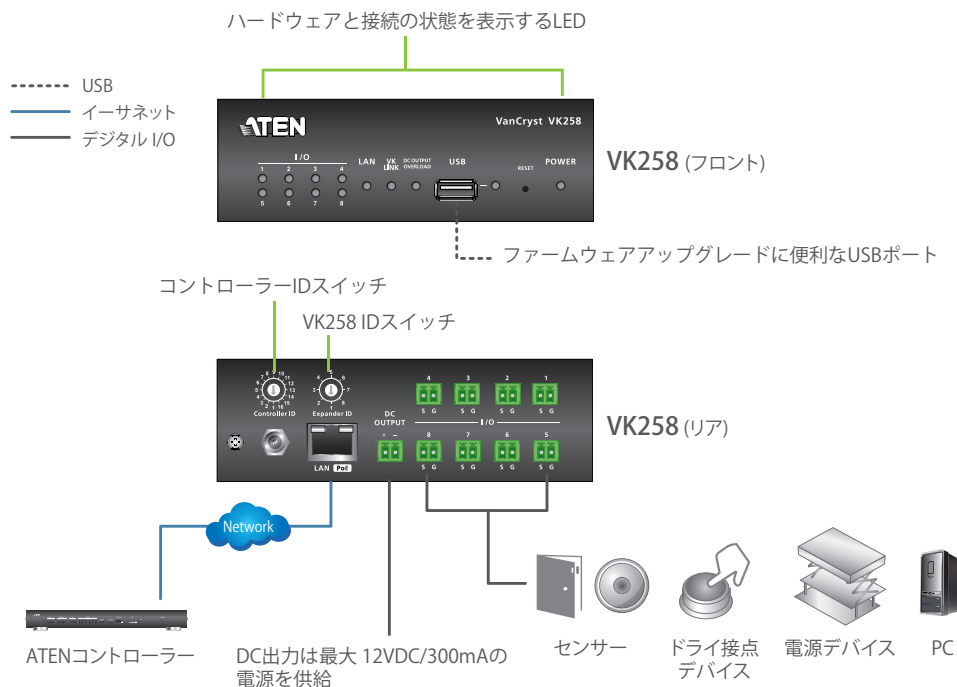
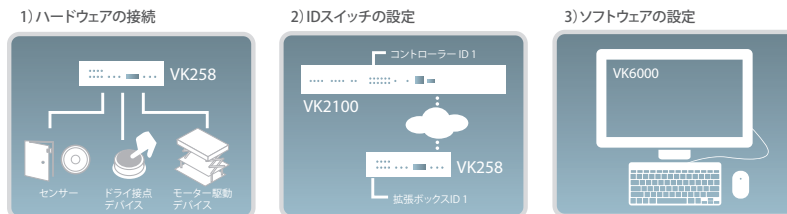


フロント



リア

□ 構成図



□ ポイント

1. PoEケーブル1本でセットアップ可能

VK258にはPoE機能が搭載されています。PoEは、LANに接続された同じイーサネットケーブルを介して電源を供給する技術です。これにより、余分な電源ソースや余分な配線が不要になります。さらに、VK258には、DC5Vの電源アダプターを介して電源を供給することもできます。

2. イーサネットによる拡張

イーサネットベースの接続により、拡張ボックスを制御する必要があるデバイスの近く（ネットワークを介してATENコントローラーに接続されている任意の場所）で簡単に設置できます。

3. DC電源出力

VK258は、最大DC12V/300mAの電源出力が可能なDC電源出力ポートを搭載しているため、I/Oデバイスや他の低電圧デバイスに対して電源を供給することができます。

□ 特長

- ATEN コントロールシステムにデジタル I/O チャンネルを 8 チャンネル増設可能
- 1 台のコントロールボックスに対して、最大 8 台の拡張ボックスを接続可能
- 柔軟な配置 - イーサネット接続を介して ATEN コントロールボックスに接続
- コントロールボックスとは ID スイッチでペアリングを行うため、ネットワーク設定が容易
- 1 箇所の DC 出力から、追加の電源を必要とする I/O デバイスやその他の低電圧デバイスに電力を供給
- PoE (Power over Ethernet) または DC 電源に対応
- ファームウェアは、USB、ファームウェアアップグレードツール、または Web インターフェースを介してアップグレード可能

□ 仕様

機能	VK258
インターフェース	
I/O	• プログラマブル デジタル入出力チャンネル× 8 (2 極ターミナルブロックコネクタ× 8) デジタル入力: - VDC モード: 入力電圧範囲: DC0 ~ 24V、プログラム可能範囲: DC1 ~ 24V - ドライ接点モード: プルアップ 2k Ω +DC12V デジタル出力: DC24V 300mA シンク
イーサネット	RJ-45 メス× 1 (10/100 Base-T) • 対応プロトコル: ARP、ICMP、TCP/IP、DHCP、HTTPS、SSH • DHCP 対応、30 秒以内に IP が割り当てられない場合は、下記のデフォルト IP 設定を適用 - デフォルト IP: 192.168.0.60 - デフォルトサブネットマスク: 255.255.255.0
スイッチ	
コントローラー ID	16 セグメントスイッチ× 1
拡張ボックス ID	8 セグメントスイッチ× 1
リセットボタン	ピンホール型スイッチ× 1
USB	USB Type-A × 1 (ファームウェアアップグレード専用)
消費電力	DC5V: 2.2W
電源	
出力	DC12V、300mA
動作環境	
動作温度	0 ~ 50°C
保管温度	-20 ~ 60°C
湿度	0 ~ 80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.46 kg
サイズ (W × D × H)	130 × 75.8 × 42mm
同梱品	マウントキット× 1、ターミナルブロック× 9、クイックスタートガイド× 1